

平成25年度第2回江南区郷土資料館運営協議会議事録

平成26年3月5日（水） 午後2時～
江南区郷土資料館 展示室

出席者（委員12名）

森田一郎・熊谷喜作・上山寛・和田和之・熊倉宗衛・志賀恒一・小林洋一
阿部兵一・豊岡豊郎・和澄徹・田村和子・荒木アキ子

事務局：佐藤薫・立川正史・小林達弥・齋藤昭・榎本博

- 1 あいさつ 江南区郷土資料館運営協議会 委員長
江南区地域課長
江南区郷土資料館館長

2 協議

①今年度・来年度実施事業について

（事務局説明要旨）

- ・資料1「平成25・26年度江南区郷土資料館事業について」に基づき、今年度の主催・共催事業、一般利用（展示室貸出）について説明。
- ・来年度の実施事業としては「昔語りの会」「古文書勉強会」「江南区俳句展」を継続予定。新規事業として、「ボランティア研修会」「地域ごとの郷土史解説講座」「勾玉（縄文土器）作り体験」を予定している。企画展は「乾田化前の亀田郷の写真展」を開催予定。
- ・資料の事業に加え、立川織物さん・中宮機業さん協力のもと、亀田縞織体験を予定。

（委員）

- ・日本共産党県委員会県委員会所蔵作品展とあるが、実際にどんなものを展示したのか。

(事務局)

・ 絵画や彫刻などの展示をされていた。絵画はプロレタリア作家の矢部友衛（やべともえ）さんの絵などを展示していたようである。

(委員)

・ 「乾田化前の亀田郷の写真展」について、当時（昭和23年以前）はカメラを持っている方がほとんどおらず、残っている写真が少ない。写真は亀田郷土地改良区が持っているのではないかと。

(委員)

・ 嘉瀬は乾田化が他の地域より遅かったので（昭和37年頃）、この地域では乾田化前の写真を持っておられる方がいる可能性があります。

(事務局)

・ 当館の所蔵資料は本間喜八さんが撮影されたものが多い。もし写真展をやるのであれば、土地改良区や委員に協力をお願いしていきたい。

(委員)

・ 曾野木の上沼に住んでいらっしゃる方が当時カメラを持っており、鳥屋野潟の写真などを多くお持ちだと思われるので、聞いてみてはどうか。

(事務局)

・ アンケートに書いていただいた鳥屋野潟の写真については非常に興味がある。ぜひお聞きしたい。

(委員)

・ 展示室の一般利用でプロレタリア作家の作品展示もあったということだが、横越の市村三男三さんの作品は50点ほど修復され、それ以外にデッサンも数多く残っている。何かの機会に展示してはどうか。

(事務局)

・ 現在市村三男三さんの作品は横越出張所で保管している。機会を見つけて展示を行ってきたい。

(委員)

・亀田郷の写真について、一般の方にも写真の提供を呼びかけてみてはどうか。どれほど集まるかわからないが、資料館に関心を持ってもらうことにもつながる。

(事務局)

・区だよりや館内掲示で告知が可能なので、おっしゃる通り関心を高めるためにも実施を検討したい。

(委員)

・松山の方でも、北山池などの風景を撮影している方がいらっしゃる。

(事務局)

・写真の提供については、委員の協力も得ながら相談していきたい。

(委員)

・両川中学校の校長も務められた五百川先生が、玉井潤二先生の裁判記録などの資料を所有されている。歴史解説講座の講師を務めていただくこともできるのではないか。

(委員)

・曾野木のことに詳しい方ですと、大沼さんという方がいらっしゃる。

(事務局)

・資料館としても講師をお願いできるのではないかと考えている方はいらっしゃるが、今お名前が出た方も含め、ご紹介いただきたい。

②来年度以降の江南区運営郷土資料館協議会のあり方について

(事務局説明要旨)

・資料2「来年度以降の江南区郷土資料館運営協議会のあり方について」に基づき説明。

・江南区郷土資料館運営協議会は「(仮称)江南区郷土資料館のあり方に関する懇談会」を前身として、現在は資料館の運営についてご意見をお聞きし

ている。また、「江南区郷土資料館を応援する会（ボランティアスタッフ）」も開館に合わせて発足した。

・協議会の今後について、平成27年4月に「江南区郷土資料館運営協議会」を「江南区郷土資料館を応援する会」に一本化する方向で検討・調整していきたい。その際は委員の皆様の意見をお伺いし、反映させていく。

・来年度は新たに委員を選任し、また公募委員の募集も行う予定。
・追加配布した「江南区郷土資料館を応援する会 活動状況」についても説明。展示・企画の検討、展示替えのお手伝い、小学校などの団体来館時のガイドなどでご活躍していただいている。

(委員)

・江南区郷土資料館はまだまだ認知されていないところがある。両川の人は資料館というとみなとびあ(新潟市歴史博物館)のことだと思っている。資料館の存在を知らないのはもったいないので、より知ってもらえるようにしてほしい。

(委員)

・平成26年度は協議会の現体制を継続するようであるが、今は各地区別で何人、という形が出ている。ボランティアについても各地区から出てもらう方がよい。

(事務局)

・応援する会については特に制限はないので、各地区から多くの方にご参加いただきたい。

(委員)

・平成26年度の協議会は現状のままで1年かけてやっていく方がよいのではないかと。そこで応援する会が何をやるのか決定していく。

(委員)

・この資料(資料2)の表現だと、「それなら今年度で辞めようか」という方もいたと思うが、やはり来年度は現体制で続けるのがいいのではないかと。

(事務局)

・健康上の理由等がない限りは、平成26年度も現在の委員の皆さんは継続していただけるようお願いしたい。

(委員)

- ・現在両川地区は委員が1人しかいないので、2人になるように1人候補を提案したい。万が一どちらかが欠席となっても、会議に地区の代表が出席できるように。

(事務局)

- ・新しく委員になっていただける方に関しては、後日意向を確認させていただく。
- ・平成26年度は新たな委員も入ると思うが、現委員に継続をお願いし、平成27年度以降の協議会のあり方・応援する会との一本化についてさらに検討していくということをお願いしたい。

3 その他

(事務局)

- ・先ほどまででお話しした通り、現委員に継続していただくため両川地区の欠員分も含めて、新しい任期の就任依頼文を近日中にお送りする。各地区2名を維持するようにしたい。
- ・現在市として懇話会等の委員の女性比率を高める取り組みを行っているため、皆様からもご紹介いただくなど、ご協力をお願いしたい。

(以上)